



## 月刊 さいとう健



### 号外

平成23年12月1日発行

### 「消費税議論の 進め方についての疑問」

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。  
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。  
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。  
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。  
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。  
平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。  
現在、党政務調査会会長補佐・シャドウキャビネット(影の内閣)の  
総理補佐官として活動中。

〔趣味〕 読書、カラオケ、ハンドボール

〔好きな食べ物〕 ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)

〒270-0137 流山市市野谷665-40-103

TEL: 04-7157-6223 FAX: 04-7157-6224

E-mail : info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981

千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

野田総理は、さる11月3日にフランスで行われたG20(20ヶ国・地域首脳会合)において、日本としては来年3月に消費税引き上げ法案を国会に提出するという趣旨の約束を、世界に対して文書で行いました。

消費税につきましては、これまでの「月刊さいとう健」でも、二度にわたりさいとう健の考えをお伝えしてきました。その中では、

- ① 消費税だけでなく法人税や相続税などを含めた抜本改革を行い、それぞれ何に使われるかの考え方を明確にすること、
  - ② 増税の前に、痛みを伴う歳出削減をこまめに行ったけどまだこれだけ足りないという具体的な姿を示すこと、
  - ③ さらに、一つの増税案を決め打ちするのではなくいくつか案を示して国民的議論の中で最終決定すること、
- などを訴えてきましたが、どうも野田政権の消費税の進め方はそうではないようです。

これまでの政府の発言を聞いておきますと、3月に提出される法案は、2010年代半ばに消費税率10%、その前の2013年あたり7%ないし8%に上げるという段取りを決めるだけの法案のように思われますが、一方で増収分が何に使われるかはぼんやりしていてわからない。そこは、実際に税率を上げるまでの間に検討するということのようにです。

ですが、さいとう健には素朴な疑問があります。

まず第一は、何にいくら使うのかがはっきりしないで、どうして税率が決まるのか？

税と社会保障の一体改革といいますが、例えば、年金改革をどうするのか、医療・介護の制度改革はどうなるのか、そして、それらにいくら必要かがはっきりしないでどうして税率だけが先に決められるのか？

もっと大きな問題は、例えば5%増税分のうち何%を地方に配分するのか？1%なのか、2%なのか、0%なのか。この点がどうなるかによって、国が使える金額は大きく異なりますが、この肝心なところも決まっていない。それなのに税率だけが決まっている。

また第二に、消費税の賛否を判断するにあたって必要な制度設計がわからない。

例えば、商店や消費者の皆さんは、食料品などが免税になるのかどうかわからなければ判断できないのではないのでしょうか。さらに、中小企業の皆さんにとっては、免税事業や簡易課税制度がどうなるかがわからなければ判断しようがない。もっと言えば、今はガソリン税という税金にも消費税が課されていますが、税率アップのときにこの調整をしないのか。この点は、関係業界の方々にとっては大問題だと思います。まだまだ他にもたくさんあります。

これらの点がわからなければ、関係の方々も賛否の判断のしようがないではありませんか？

にもかかわらず、税率だけを定める法案が来年3月に国会に提出されるのです。

本来であれば、こういった様々な検討を行ったうえで、結果として税率が決まり、法案となって国会に出されるのが常識です。過去の消費税導入のときも、税率アップのときもそうでした。でも、今回は違う。%だけが具体的に書かれている法案が出てくるのです。

使途や具体的な制度設計が全くわからないまま国会に法案を出してきて、とにかく10%にしてほしい、詳しいことはあとでお知らせしますからと言われて、皆さんはわかりましたとなりますか？

さいとう健は、税率アップの是非の判断を求める以上、使途を具体的に提示するのとともに、消費者や商店の皆さん、中小企業の皆さんや地方自治体の皆さん、関係業界の皆さんが判断できるような具体的な材料を示した上で行うべきだと、これから強く訴えていくつもりです。そして、消費税に対するさいとう健の考えも、タイミングを見て再度「月刊さいとう健」でご紹介したいと思います。

# さいとう健 政治活動史

**2009.8.30**

背水の陣の中、104,262票を頂き、比例南関東ブロックから初当選。自民党新人議員は全国で4名のみ。

**2009.11.4**

衆議院予算委員会にて質問。全国中継される。当選3カ月の1年生議員が質問するのは異例。

**2010.4.20**

衆議院本会議場に登壇。ネクストジャパン環境担当として「低炭素社会づくり推進基本法案」の趣旨説明を行う。

**2010.9**

石破茂政務調査会長のもと、政務調査会事務局長に就任。党内全ての政策の実務に奔走。

**2010.11.9**

衆議院予算委員会でのさいとう健の質問がネット動画で反響を呼ぶ。10代・20代の若者から熱狂的な支持を受ける。

**2011.3**

東日本大震災が発生。街頭募金活動、支援物資募集活動を緊急に行う。

**2011.5.18**

宮城県被災地に入る。現状と被災者の声を国政に届ける。

**2011.7**

地元ホットスポット問題について14日15日27日とたて続けに委員会質問で追及。



国会も可能な限り自分でご案内いたします。

## 「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構ですので、お声かけいただければと思います。

お問い合わせは、事務所(04-7157-6223)までお気軽にどうぞ。



さいとう健著

「転落の歴史に  
何を見るか(ちくま文庫)」

10年前に出版した本が増補され、文庫版として発刊。今なお色あせない内容は、失われた10年を象徴しているのか。2度の大戦の歴史から現代が抱える政治的な欠落を読み解く。

定価:798円(税込)

書店で見つからない場合は事務所までお問い合わせ下さい。

さいとう健と一緒に

明日の日本を育てませんか？

さいとう健事務所では、ボランティアスタッフを募集しています。さいとう健の理念に賛同していただける方ならどなたでも歓迎します。政策ビラのポスティングや、ポスター掲示のご協力、軽作業など。一人ひとりのお力が、さいとう健の支えになります。



ミニ集会は、さいとう健の原点です。

## 「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集會を、活動の原点としております。二人でも三人でも結構ですので、ぜひ企画して呼びいただければ幸いです。

お問い合わせは、事務所(04-7157-6223)までお気軽にどうぞ。

メルマガ **さいとう健**

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

やっぱり、  
この男に！